
編集後記

平成22年3月21日春分の日、越前おおのに春の到来を告げる「七間朝市開き」とともに幕を開けた越前大野城築城430年祭は、本年2月6日をもって終了しました。

「越前おおの」の元気創造を基本方針に、全72事業を実施してきましたが、事業計画策定段階より「なぜ430年なのか?」という質問を受けることも少なくありませんでした。しかし、多くの市民が、「ふるさとを元気にしよう!」とひとつの輪となり、地域や企業、グループ、個人などそれぞれの立場で、自発的な取り組みをされました。この熱い思いにより、関連事業への参加者数が60万人を越えるという大きな成果を残すこととなり、振り返れば、430という数字の持つ力、『市民の輪』が十分に発揮されたのではないかと考えています。

こうして、多くの方の記憶に残ることとなった築城430年祭を記録に留めるため、記念誌を刊行することとなりました。編さんに当たっては、できるだけ多くの写真を掲載し、躍動感のあるものにするのを心がけました。結果、事務局で撮影したものや事業それぞれの主催者から提供していただいたものなど、選びきれないほど多くの写真が集まりました。

写真1枚1枚を拝見しますと、実行委員会が主催したメインイベントはもちろんのこと、うぐピーうめピーとともに参加させていただいた市民自主事業など、そのひとつひとつが鮮明に思い出され、感慨深い思いがしました。そして、この度の成功は、市民をはじめ多くの方々のご活躍なくして成し得なかったということに改めて気付かされます。私たちも、この記念事業に携われたことを大変名誉なことと感じるとともに、皆様からの多大なるご支援に心から感謝を申し上げます。

築城430年祭は、主催者として、出演者として、あるいは事業を支えるボランティアとしてご協力くださいました皆様のご活躍と「元気」が、事業やイベントに参加した方の「元気」を生み出した、そんな事業だったのではないのでしょうか。

築城430年祭は、これにて一区切りをつけることとなりますが、今後も、皆様とともに、築城430年祭を契機に生まれた「元気」のつながりを広げ、市民はもちろんのこと、越前おおのにお越しいただいた方のさらなる「元気」を生み出していきたくと決意を新たにしているところです。

末筆になりましたが、これまでいただきました心温まる励ましやご支援に対しまして、重ねて感謝を申し上げます。

平成23年3月

越前大野城築城430年祭実行委員会事務局

悠久の時を経て…今、 城下町に新しい風が吹く

越前大野城築城430年祭記念誌

発行日／平成23年3月

発行／越前大野城築城430年祭実行委員会
(大野市産業経済部観光振興課内)

〒912-8666 福井県大野市天神町1番1号